

科目名	リベラルアーツ基礎A			授業コード	30231		
担当教員	初山 高仁						
学科学年	BC1	開講期間	2023年度 後期	授業形態	講義	単位数	2
授業計画	1 私たちの暮らしと科学と技術そして環境 2 ルネサンスと近代科学の芽生え 3 レオナルド・ダ・ヴィンチの絵画と科学 4 レオナルド・ダ・ヴィンチの実験と観察 5 環境問題とF・ベーコンの科学の方法 6 ガリレオの「それでも地球は動く」、デカルトの「4つの規則」 7 産業革命と社会問題・環境問題 8 「日本の産業革命」は輝いていたか？ 9 大量生産・大量消費と生命・エネルギー 10 ダーウィンの進化論と生命・環境 11 第一次世界大戦と科学・技術 12 第二次世界大戦と科学・技術 13 戦後日本の高度経済成長と環境 14 原子力の現在と環境 15 筆記試験 16 1980年代の仙台市の粉塵問題と授業のまとめ 学期進行中に遠隔授業に切り替わった場合、授業計画については別途指示します。			授業概要	本講義では、ルネサンス期から現代までの歴史をたどり、科学と技術が人類の平和と幸福のために、これから、どのようにあるべきなのかを考えていきます。現在、環境問題や資源・エネルギー問題などへの対応をいかに行うかが課題となっています。科学と技術の進歩が産業や経済の発展に寄与してきたわけですが、その一方で科学と技術が様々な社会問題の一因ともなってきました。本講義ではこのようなテーマを専門知識がなくとも学べるようにしますが、新聞報道などを通じた時事問題についての自主的な学習が必要となります。		
				到達目標	環境問題、エネルギー問題そして戦争といった科学や技術をめぐる現在の様々な問題が、どのような歴史的な経緯があって起ったのかを「問う」ことで、現代を「生きる」私たちに何が必要かを理解することを目標といたします。これにあたっては、主体的な学習を伴うことで、より深い授業内容の理解を目指します。		
評価方法・基準	資料の持込が可能な形での期末の筆記試験を行います。暗記などは必要のない形にいたします。また、各授業回のミニット・ペーパーでの授業への積極的な参加を評価します。試験の結果について70%の評価を、授業内課題について30%の評価を行います。理由が明確ではない欠席が多い場合は単位認定をしません。授業内課題については当該授業内で解説を行いますし、試験結果についてのまとめの授業内で説明をします。試験結果が思わしくなかった場合には課題レポートを提出していただくことになります。			準備学習（予習・復習等）	1週間に3時間程度の準備学修（予習・復習等）が必要となります。科学や技術をめぐる新聞やテレビの報道に関心を持ってください。社会問題について関心を持つ必要がありますので、新聞を読むこととニュースを視聴すること（合計30分以上）とを日課として、社会問題についての関心を深めてください。授業内で次回の内容を指し示すような単語が現れますので、それについて主体的に調べることを課題とします。		
教科書1	特にありません。			履修上の留意点	科学や技術についての専門知識は必要ありません。身の回りの現代の課題に関心をもって履修してほしいと考えます。毎回の授業に関する内容をノートやプリントのメモにまとめてください。		
著者名							
出版社	価格						
教科書2							
著者名							
出版社	価格						
教科書3							
著者名							
出版社	価格						
参考となる書籍・URL	必要があれば指示します。			ディプロマ・ポリシー（DP）との関連	大学DP 4 HP参照 { http://www.mgu.ac.jp/main/about/diplome/index.html }		
実務経験と授業との関連				備考（ナンバリング等）	{ https://www.mgu.ac.jp/main/campus/curriculum/index.html }		